第４講　2025年度 試作問題 第4問

第４問　生徒X，生徒Y，生徒Zが，「政治・経済」の授業で学習した内容を踏まえて，日本の雇用慣行について話し合っている。次の**会話文１**および後の**会話文２**を読み，後の問い（**問１～６**）に答えよ。（配点　18）

会話文１

X：終身雇用などの雇用慣行を理解することは，ⓐ日本経済の今後の動向を考える上で欠かせないよね。

Y：ⓑ実際にいくつかのデータベースを用いて，日本と他国の雇用慣行に関するデータを比較してみたよ。

X：データをみるとそれぞれの国の特徴がわかって興味深いのだけど，その一方で比較対象によっては大きな違いがみられないね。一体どうしてだろう。

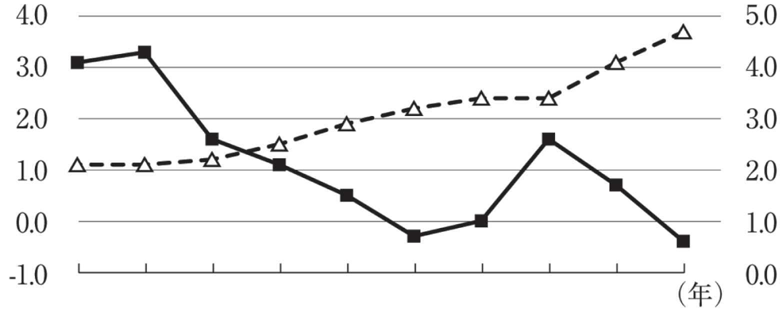
Z：欧米の一部産業では日本と同じ慣行が維持されているから，そこまでの差にならないんじゃないかな。そもそも日本は，労働に限らずⓒ年金などの社会保障分野でも他国を参考にしてきたともいわれているよ。

問１　下線部ⓐについて，生徒Xは，第二次世界大戦後の日本経済の歩みを調べ，次の**ア**～**ウ**のグラフを作成した。これらは，それぞれ1970年代，1990年代，2010年代のいずれかの消費者物価指数の変化率（対前年比）と完全失業率との推移を示したものである。グラフの横軸は「年」を表し，10年間について1年ごとの目盛り間隔となっている。このとき，これらを年代の古いものから順に並べたものとして正しいものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。 15

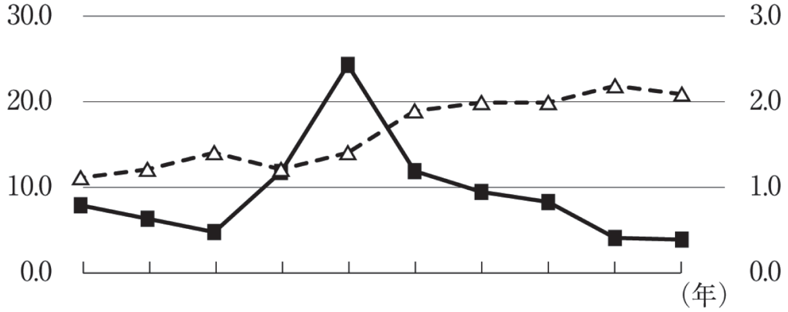
■ 消費者物価指数の変化率（対前年比：%）：左目盛

△ 完全失業率（%）：右目盛

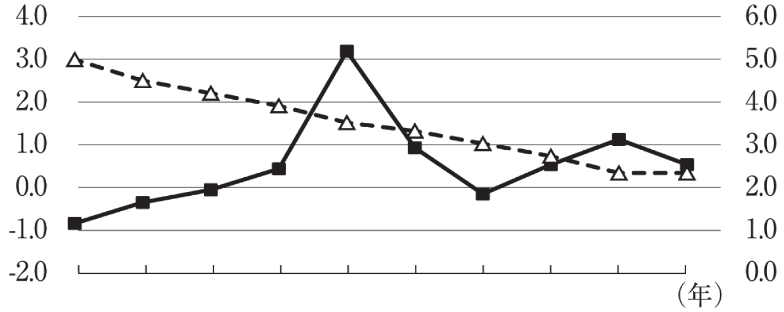
ア



イ



ウ



（出所）　**ア**～**ウ**は，いずれも総務省統計局 Web ページにより作成。

① ア → イ → ウ	② ア → ウ → イ	③ イ → ア → ウ
④ イ → ウ → ア	⑤ ウ → ア → イ	⑥ ウ → イ → ア

問２　下線部ⓑについて，生徒Yは，日本，イギリス，スウェーデン，ドイツの４か国の雇用慣行を比較して考えてみた。次の**表**は，これら４か国の雇用慣行を数値で表したものであり，**表**中のA～Dは，それぞれ，これら４か国のいずれかを示している。なお，**表**中の(**ア**)は勤続年数１～５年の賃金を100としたときに賃金が勤続年数に応じてどのぐらい変化するかを，(**イ**)は年齢階層別の平均勤続年数を，(**ウ**)は数値が大きくなるほど賃金交渉を主導する主体が企業別組合から産業別組合へ移ることを意味する「賃金交渉の集権度」を，それぞれ表している。**表**と後の**説明文１～３**とを参考にして，A～Dが示す国の組合せとして最も適当なものを，後の①～⑧のうちから一つ選べ。 16

		A	B	C	D
(**ア**) 賃金水準	勤続年数 10～14年	140.1	127.9	118.0	110.9
	勤続年数 15～19年	148.8	142.8	126.8	111.8
	勤続年数 20～29年	159.6	170.0	132.2	106.8
(**イ**) 勤続年数	年齢階層 25～54歳	9.4	11.5	7.6	7.1
	年齢階層 55～64歳	19.2	19.6	13.8	17.1
(**ウ**) 賃金交渉の集権度		3	1	1	3

(注)　賃金水準と賃金交渉の集権度の単位は指数である。日本の賃金水準のみ勤続年数１年以上５年未満の賃金を100とする指数である。また，すべてのデータは，2014年から2019年にかけてのいずれかの年のものである。

(出所)　独立行政法人労働政策研究・研修機構『データブック国際労働比較 2019』，OECD/AIAS ICTWSS Database により作成。

説明文１　同一労働同一賃金が浸透しているとされるスウェーデンでは，他国に比べて，賃金水準が勤続年数とは独立に決まっている。

説明文２　労働市場の流動性が高いことなどを背景に，イギリスの平均勤続年数はどの年齢階層においても日本より短くなっている。

説明文３　ドイツおよびスウェーデンは，賃金交渉の集権度の面で，日本とは異なっている。

	A	B	C	D
①	ドイツ	日本	イギリス	スウェーデン
②	日本	イギリス	スウェーデン	ドイツ
③	イギリス	スウェーデン	ドイツ	日本
④	スウェーデン	ドイツ	日本	イギリス
⑤	イギリス	日本	ドイツ	スウェーデン
⑥	日本	ドイツ	スウェーデン	イギリス
⑦	ドイツ	スウェーデン	イギリス	日本
⑧	スウェーデン	イギリス	日本	ドイツ

問３　生徒Zは，下線部ⓒについて調べてみた。年金の仕組みに関する記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 [17]

①　現在の日本の年金制度の下では，税収が基礎年金の原資の中で最も大きな割合を占めている。

②　年金給付に要する原資をその時々の現役世代が賄う方式は，賦課方式と呼ばれる。

③　デフレーションが生じたときに年金給付額が実質的に減少するという問題が積立方式の下では存在する。

④　現在の日本の厚生年金制度の下では，すべての受給者に対して同額の給付がなされている。

会話文２

Y：日本の雇用慣行についてはわかったけど，そもそも景気が悪くなってしまうと，失業などの問題も出てくるよね。

X：ⓓ資本主義経済においては，不況のしわ寄せが企業だけでなく労働者にもいってしまうんだ。

Y：現在の日本にはⓔさまざまな働き方をしている人々がいるので，政府のきめ細やかな政策がいっそう重要になってくるね。

Z：さらに，外国人労働者の増加やAI(人工知能）などのⓕ新技術の導入もまた，従来型の雇用慣行とは別のメカニズムで，賃金や雇用に影響を与えそうだ。こうした動向も踏まえて新しい働き方をみんなで模索していく必要があるよね。

問４　下線部ⓓに関連して，生徒Xは，さまざまな経済学説について調べ，そのうちの二つの考え方を現代的な論点と対応させる次の**メモ１・２**を作成した。それぞれの**メモ**中の空欄［ア］・［イ］に当てはまる人名の組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。［18］

メモ１　［ア］は，物価の安定を重視し，政策当局は通貨量を一定の率で供給すべきと主張したが，リーマン・ショック以降の日本の金融政策は，どのように実施されているのだろう。

メモ２　［イ］は，自由貿易がもたらす国際分業によって関係国全体での生産量が増えると論じたが，資本や労働力も自由に国境を越える時代の国際分業には，どのようなメリット・デメリットがあるのだろう。

① **ア**　ガルブレイス　　**イ**　マルサス
② **ア**　ガルブレイス　　**イ**　リカード
③ **ア**　フリードマン　　**イ**　マルサス
④ **ア**　フリードマン　　**イ**　リカード

問５　生徒Ｙは，下線部ⓔについて調べてみた。現在の雇用に関する記述として**誤っているもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。 19

① 日本では，労働者派遣法により，同一の人物が同じ職場で派遣労働者として勤務できる期間は，原則として最長３年に制限されている。

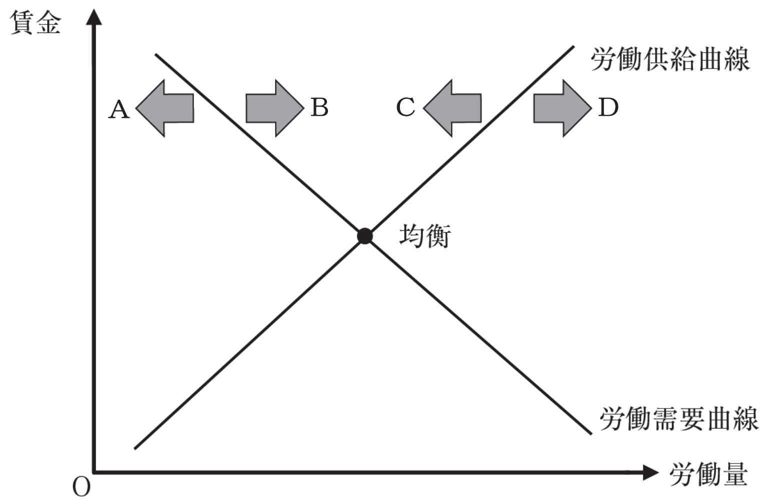
② フルタイムで働いているにもかかわらず，生活の維持が困難になるような所得水準にある労働者も，ワーキングプアと呼ばれる。

③ 日本では，グローバルな企業間競争が激化する中で，すべての雇用に占める非正規雇用者の割合は，現在も30％を超えている。

④ ある一定の仕事量に対して，一人当たりの労働時間を減らすことで雇用人数を増やすことは，ワーク・ライフ・バランスと呼ばれる。

問６　下線部ⓕについて，生徒X，生徒Y，生徒Zは，需要と供給によって価格と取引量が決まるという財市場のメカニズムを労働市場にも適用し，技術進歩が均衡賃金に与える効果を考え，次の**図**と，**図**を説明した後の**メモ**とを作成した。**メモ**中の空欄［ア］～［ウ］に当てはまる語句と記号の組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。［20］

図



メモ

労働を節約できるような新しい技術が企業に導入されると，他の条件が等しい限りにおいて，［ア］が［イ］の方向に移動する。その結果，均衡賃金は［ウ］する。

① ア　労働需要曲線　イ　A　ウ　低　下
② ア　労働需要曲線　イ　B　ウ　上　昇
③ ア　労働供給曲線　イ　C　ウ　上　昇
④ ア　労働供給曲線　イ　D　ウ　低　下

第 4 講　2025年度 試作問題 第 4 問　解答

(全大問合計で 100 点満点)

問題番号(配点)	設　問	解答番号	正　解	配　点
第 4 問 (18)	1	15	3	3
	2	16	1	3
	3	17	2	3
	4	18	4	3
	5	19	4	3
	6	20	1	3